

## 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2018年3月27日  
事業ID:2017445584  
事業名:兵庫県尼崎市における  
第三の居場所(A)の整備  
団体名:特定非営利活動法人み・らいず  
代表者名:代表理事 河内崇典 印  
TEL:050-5840-3113  
事業完了日:2018年2月28日

事業費総額	26,778,503 円	(収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	8,503 円	
助成金額	26,770,000 円	(千円未満は切り捨て)
返還見込み額	0 円	(収支計算書に記載する助成金返還見込額)

事業内容:

「第三の居場所」を整備し、子どもたちの社会的相続を補完する。同時に、貧困の連鎖に対する有効施策を特定する。

1.事業目標の達成状況:

【申請時の目標】

2018年2月までに拠点の完成および開設後の円滑な運営体制の構築を行なう。

【目標の達成状況】

(1)物件の選定について

立地: 尼崎市内の商業施設 4階部分
構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造
面積: 141.9 m <sup>2</sup>
賃料等: 月額 278,640 円、敷金 500,000 円、礼金 1,000,000 円(消費税含む)
用途: 事務所用であったため、用途変更の手続き必要。

## (2)設備について

実施した工事 仮設工事/給排水配管工事/防災設備工事/空調設備工事/換気設備工事/電気設備工事/床 造作工事/軽鉄ボード工事/建具工事/塗装工事/衛生設備工事/造作家具工事/内装工事/照 明器具工事/
レイアウト等:別紙レイアウト図参照

## (3)人材について

人材確保について: ② ハローワークを通じての求人票掲載 ②求人掲載サイトを活用しての人材募集活動
研修 ①先行の第三の居場所視察 ②第三の居場所開設自治体合同研修会 ③事業計画 ③ 衛生管理・救急救命等の研修 ④ スタッフ研修

## (4)運営準備について

関係機関等への周知に向けて ①説明資料の作成 ②尼崎市担当課との調整 ⑤ チラシ等広報物の作成
利用開始に向けて ①マニュアル(感染症・緊急対応・災害等)の作成 ②活動保険等の選定 ⑥ 備品等の選定 ④契約書等作成、フェイスシート・アセスメントシート作成

## 2.事業実施によって得られた成果:

### (1)物件の選定について

・駅に近いワンフロアの物件が見つかり、オーナーや管理組合から事業の理解も得ることができ、通所経路や避難経路の確保なども協力してもらうことができた。

### (2)設備について

・用途変更や水まわりの工事、消防法による制限等があり、工事に取り掛かるまでに多大な時間と労力が必要となった。

### (3)人材について

①人材募集に関しては、ハローワークや求人掲載サイトから 14 名、知人からの紹介 3 名の合計 17 名の問い合わせがあり、そこから 3 名の採用を行った。

②③研修については、第三の居場所の運営に関して先行している運営団体の視察を行い(施設長 1 名)、開設自治体合同研修会(施設長と理事スタッフの 2 名)に参加した。

④事業計画については、法人内の事業計画合宿や事業会議において作成を進めた。  
・運営における防火管理や衛生管理についての研修は、施設長 1 名が受講し、安全な運営体制を整えた。

⑤スタッフ研修については、研修内容の検討を行い、以下の研修プログラムとした。実施については 3 月 3 日に行う。

	項目	内容
1	オリエンテーション	アイスブレイク、受講者自己紹介、研修内容の説明 子どもの家事業についての説明
2	様々な背景・特性をもつ子どもたち	子どもたちの様々な背景と課題について(障がい特性、子どもの感覚、虐待・愛着障がい、貧困について)
3	不登校の理解	不登校・ひきこもり・非行の背景や状況、社会資源、個々の課題やつまずきについて * 後半の30分で子どもたちとの関わるために必要なステップ(知る、安心、信頼関係成長)のワークショップ
4	子どものほめ方、叱り方、伝え方	「認める」「褒める」「注意する」等、子どもとの関わり方(ペアレント・トレーニング)子どもにとってわかりやすい・伝えやすい伝え方(コミュニケーションの取り方)を学ぶ
5	集団支援、SST	子どもたちにとっての「集団」、SSTとは何か、みらいずの行う集団支援について学ぶ
6	ロールプレイ	検討事例とロールプレイを通して、子どもと関わる姿勢やコミュニケーションの取り方について学び検討する
7	支援者の心得	個人情報とは何か、子どもと関わる上で気をつけるべき個人情報について支援者としてのマナーとは何か、なぜ必要なのかを学ぶ
8	個別支援計画について	個別のアセスメントと支援計画の立て方について
9	振り返り	振り返りシートの記入、全体共有

### (4)運営準備について

#### ①説明資料の作成について

尼崎市には第三の居場所が 3 拠点あるため、3 団体で説明資料等の調整会議を行い、別紙資料を作成した。

#### ②尼崎市担当課との調整

尼崎市担当窓口となる「尼崎市こども青少年本部事務局こども青少年部こども政策課」との会議を行った(1 月 17 日)。その後、電話やメール等を通じて、関係機関への周知についてや連携のあり方について協議を行った。校区となる学校への訪問については、3 月 1 日から開始となる。

#### ③チラシ等広報物の作成

関係機関へのチラシを作成し、(一社)collective for children への事業説明を行い、チラシの発送を協力いただく(発送 7 部)。また生活保護家庭への郵送物に第三の居場所のチラシを同封してもらったこととなった(発送 15 部)。行政から関係機関へ広報をしてもらった。(300 部)(チラシ作成 1000 部)

### 3.成功したこととその要因

#### (1)物件について

知人の紹介で、良い物件を選定でき、事業の主旨等についても理解をいただき、工事等を進めることができた。コミュニケーションを密にとることができたのが良き要因であった。

#### (2)設備について

ワンフロアで子どもたちの活動を見渡せる空間づくりにできた。物品等の選定もデザイナーと一緒に選定できたので、安全かつ落ち着いた部屋につくることができた。デザイナーも当法人もこれまでに児童福祉分野の空間づくりや活動に携わっていたので、子どもの活動を見守る視点で開設準備をすることができた。

#### (3)人材について

知人の紹介で、人材確保をすることができた。求人掲載サイトからは、普段関わる接点のなかった人材とも出会うことができた。

研修についても、事業計画研修→スタッフ研修と良い流れで準備を進めることができた。事業計画やスタッフ研修については、当法人でこれまでに活動してきた生活困窮者支援の学習と居場所づくり支援事業、発達障害児の学習支援事業、不登校児の居場所支援事業、放課後等デイサービスのノウハウを活かすことができた。

#### (4)運営準備について

尼崎市に第三の居場所が3拠点できるため、3団体で協議しながら進められるところ、また尼崎市で先行して(一社)collective for children の取り組みが進んでいたため、連携して事業を進めることができた。

尼崎市長をはじめ、担当課も事業への理解と協力がスムーズで、関係機関への周知も協力して進めることができている。

### 4.失敗したこととその要因

#### (1)物件について

初めに選定した物件が、用途変更ができずに工事着手を断念した。物件選定前に、児童福祉の利用目的の用途に適しているか、検査済書や確認済書は保管しているかの確認が必要であった。そのため、物件を再選定しないといけなくなり、全体の行程に遅れがでてしまった。

#### (2)設備について

水回りの工事において、天井や下の階まで工事が及ぶことになり、大幅に工事工程が増えてしまった。用途変更や消防の手続き等も細かい作業が当初予定していたものよりも増えてしまった。

#### (3)人材について

関心をもって問い合わせをもらうが、勤務時間が夜の時間帯となることで勤務可能な人材が限定された。人材の補充については、法人外からも募集を継続しながら体制の充実をはかっていく。

事業成果物(別紙参照):

- ①建物写真
- ②研修資料

(様式)

2/2

収支計算書  
(2017年12月日から2018年2月28日まで)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	助成金 未調達額 (D = A-C)	助成金 返還見込額 (E = A-B)
日本財団助成金収入	2,677,0000	26,770,000	26,770,000	0	0
自己負担	0	8,503	8,503	-	-
収入合計	26,770,000	26,778,503	26,778,503	0	0

支出の部 (単位:円)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	支出済額 (c)	未払額 (d = b-c)
工事費	18,144,000	18,144,000	18,144,000	0
設計監理費	2,177,280	2,177,280	2,177,280	0
設計監理費(消費税)	174,182	174,182	174,182	0
備品費	1,837,000	2,597,000	2,597,000	0
採用活動費	200,000	226,800	226,800	0
礼金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
敷金	500,000	500,000	500,000	0
火災保険料	27,000	25,946	25,946	0
賃借料	557,280	557,280	557,280	0
水道光熱費	20000	0	0	0
エレベーター使用料	40,000	0	0	0
通信費	196,000	1,560	1,560	0
チラシ製作費	60,000	0	0	0
旅費交通費	80,000	45,516	45,516	0
人件費(非常勤)	210,000	129,627	129,627	0
人件費(内部マネージャー)	640,000	277,356	277,356	0

人件費(外部マネージャ 兼エリアマネージャ 一)	670,000	534,136	534,136	0
一般管理費	200,000	200,000	200,000	0
講師謝金	40,000	100,000	100,000	0
事務用品費	0	4,320	4,320	0
租税公課	0	10,000	10,000	0
用途変更費用	0	73,500	73,500	0
調整減額(切捨て)	-2,742	0	0	0
支出合計	2,6770,000	26,778,503	26,778,503	0